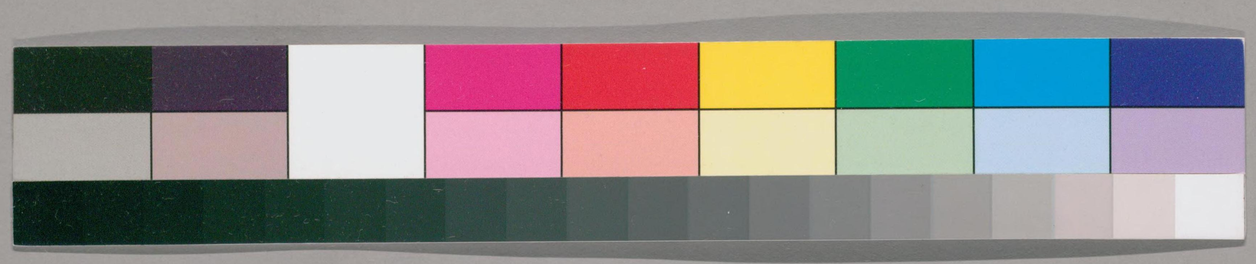
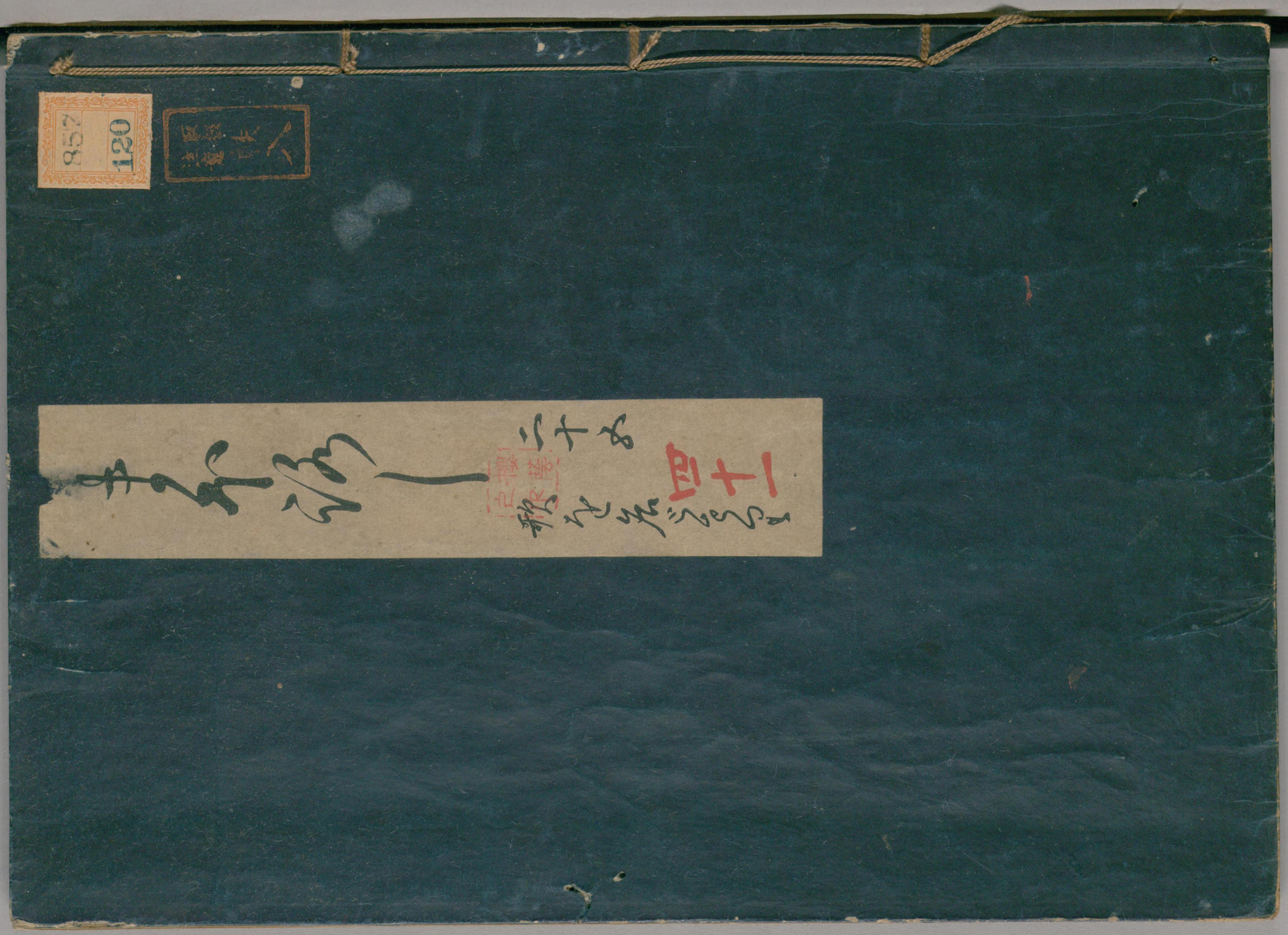




ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

857-120

源氏卅二巻の正月より十二月まで

春のひろ

さくやうのこれうろひ
アラメニラヌトミ
うちへべくもあらめよ
のひとどすれどやちう
文つうりのへくうでぐう
のうちのうち番ととめてうん
さざりないのやうみすべき

出ぬへる。れさ海のいと。なつしきまぞ。これよりは
かまこそやすべき人なくやとこしのへる。景は海の
うまひしけさしつ。おしほほどのまほひなり。れ
あそびもなく。れいまうちりこうことおほかり。女房
などもとしげへまけるは。墨深の女こ海やうにて
ほろ。かなしさもあしくあがくて。せひさ海せんべき
世なくしひきこゆるつり。こそうて。れかくぐまも
ひとり給ひず。まぎれなくこまりとなぐさめまて
なれつうまつる。としげまめやうま。れ心とぐめて
などはあしざりしかど。時ぐはこそなるぬやうま
おぼしたりつる人ども。中くかたびしきれ

ひとりねになりてはいとおほぞうまもてなし
なて。よるのれとのねなどまも。これれとおまるを。
おましのあたりひきさげつ。さふしまをぬふ。
つれぐなるまくまいましへの物語などしたまふ
おりくもあり。名称なきれひぎり心のかくなるを
りまつけてもさしもありもけまじかりける
ことまつけつ。中ごろ抱うしあしうおぼしたる
気色の時ぐこそ給しなど紙学し出るまおとて
ふまふれまても。又まめやうま心ぐるしきことま
つけてもさやうなる心をこそ生りけんおまごとまも
らうくじ手おもせしれ心ぞんなるましうは。

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

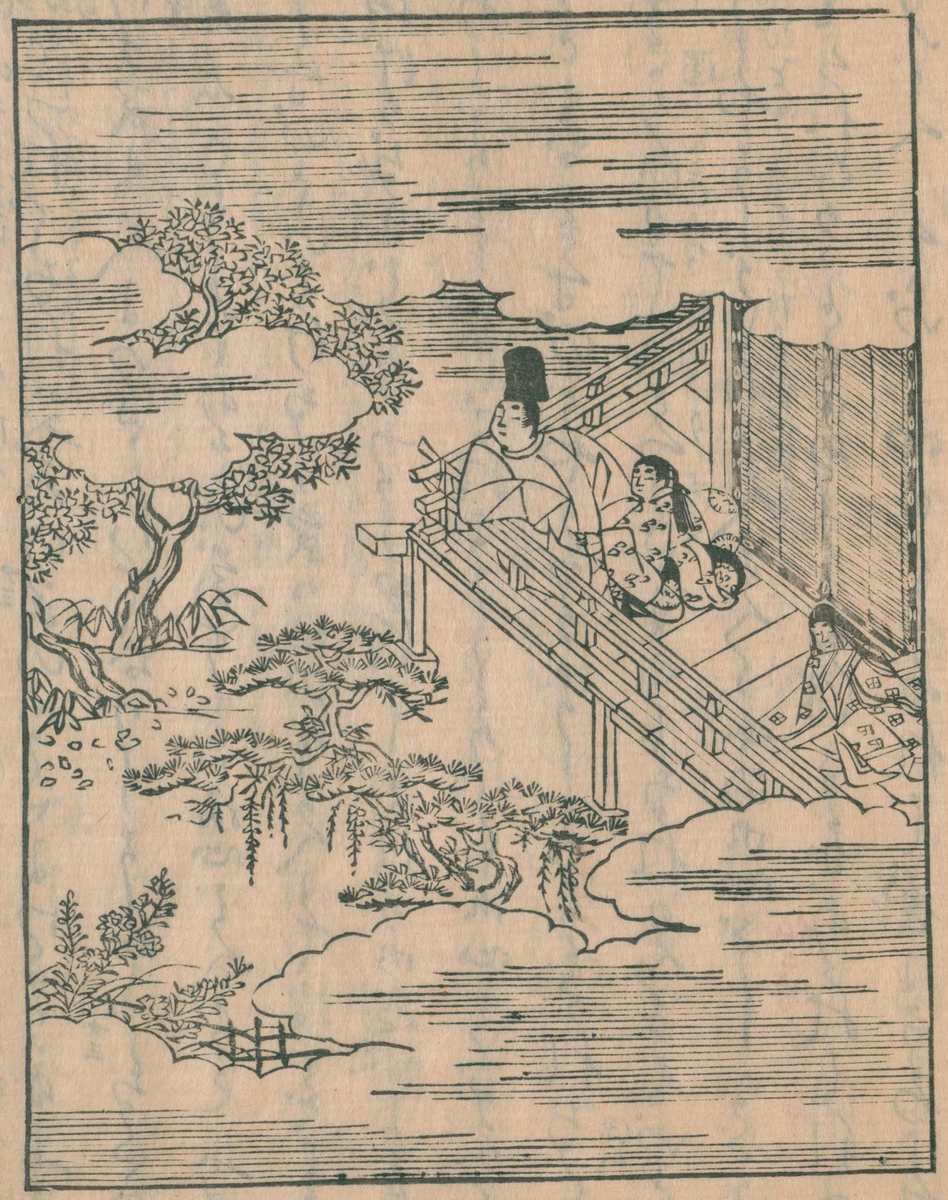
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用　挟み込み物

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

（行）（秘）（本）（本）（本

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

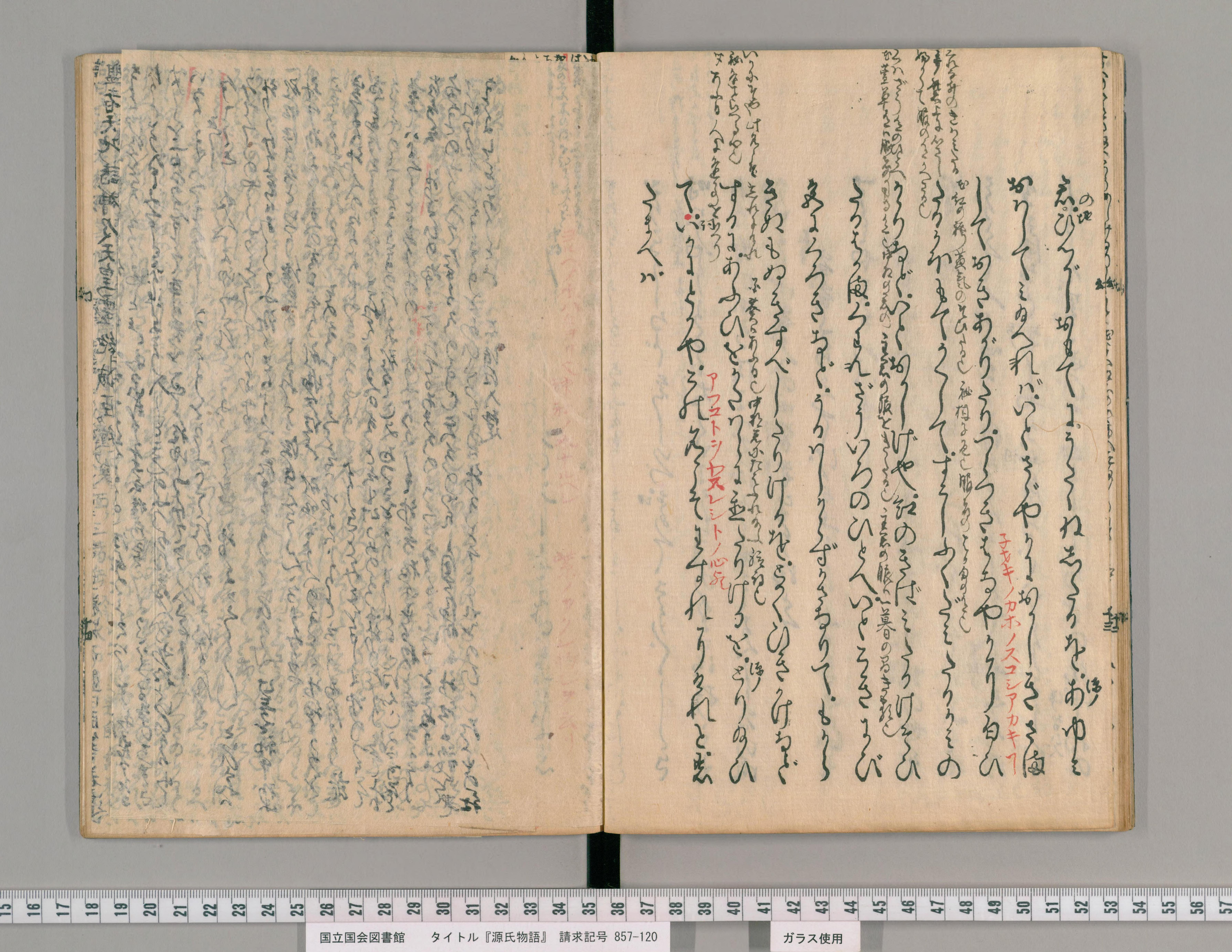
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

ヨルベノ水ハタヨリヽ神社ノ水ナルベシ

アフコトシワスレタルトノ心ヽ

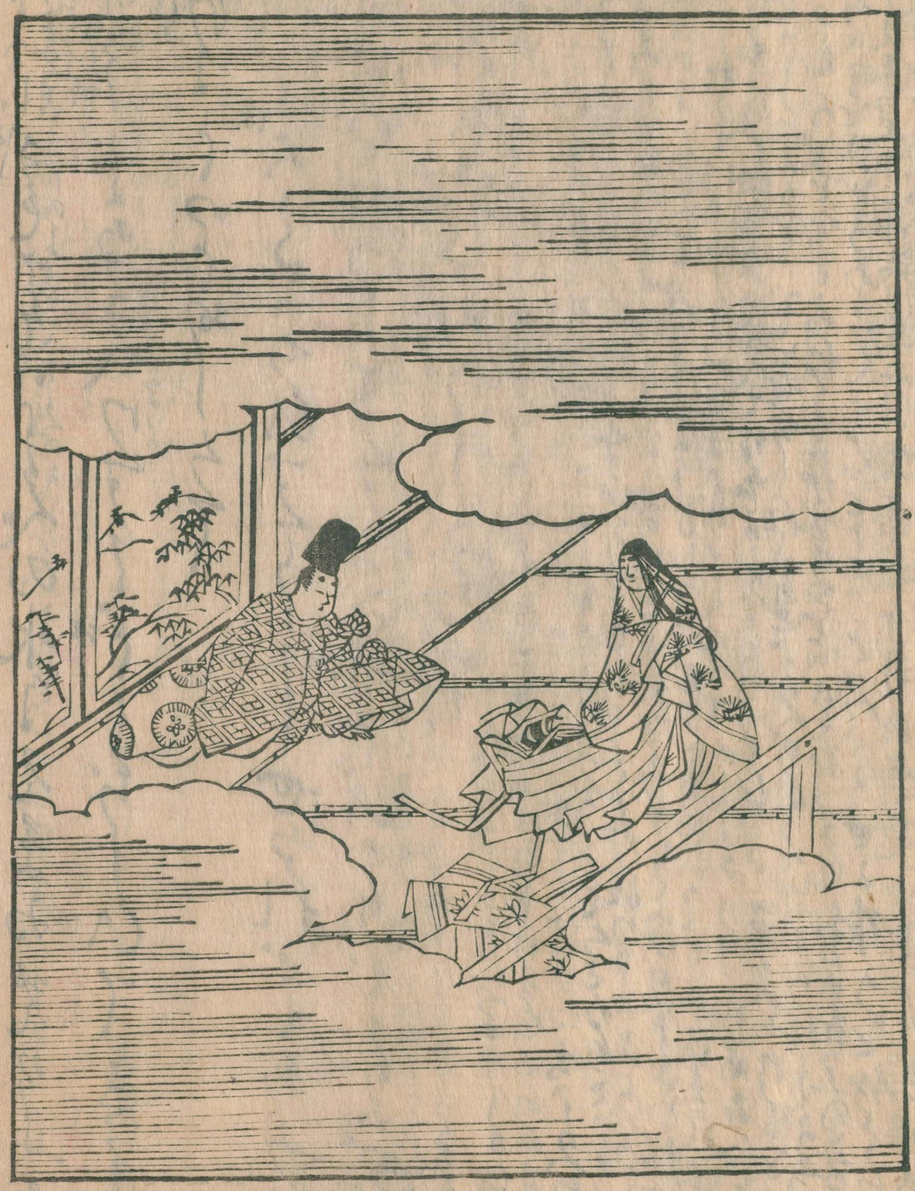
中ねヒトリバカリハトヽ

橘ト罪トシカ子タリ

中ねヒトリバカリハトヽ

盟者天地諸神及天皇靈絶城臣種矣

記曰日本紀敏達天皇十年春閏二月蝦夷數千寇於邊境由是召魁帥綾糟等



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

仏まかりいりやうしまかりせさせて見しめすらんと思
ぬべいだにうりせれつるのちぬことをうけもれ
たんがれ心ざしせられしうち極楽の男隨産などこの
うびちん供養ずべき程ちともおもふをけうをお
もしまうしてそうじてこれその心くそうしうけ給はれ
まうじてこれそのこころざしをうけ給はれ
もしまうしてそうじてこれもしかの僧のいはんま
もとよりまうしてそうじてこれすべきなどの給へやうのことぞも
すきつぎなれどこの世にはかりそめれれちぎりなり
なりとこそおもふにはかうこそといふめるそれにつけて
ぬるる人ごとにもれも思給へめ人ぐらりとぐ先にてて
ぬるる人ごとにもれも思給へめ人ぐらりとぐ先にてて
ぬるる人ぐらりとぐ先にてて

極楽男陀羅尼事

白氏文集云繡西方慎贊并序 又有繡弥陀贊 有女弟子弘農
郡君姓楊号蓮花姓發弘願拾淨財繡西方阿弥陀佛像及本國土春屋
一部奉為故李氏長姉楊夫人滅罪追冥祐也 乃至 讃曰 金方剎
金色身 資平乃 福田塊 造者誰 弘農君 受者誰 楊夫人
當麻寺極乗男陀羅縁起曰右大臣藤原号中將姓豊成女散離織士之
志不後欣求淨土之望是深晝夜戀慕極楽依正二報戀慕偈仰之餘年自
書写称讃淨土経曰云云一千巻不願禁中之交遊遂背人間之栄耀為比丘尼受如
来戒天平山寶字七年六月十五日發一折言願一人良成川 參籠當麻寺
我不見生身弥陀如来者不出此寺懇念無貳称名不退也信心切々
故感應是不空終経五ヶ日同月廿日一化尼来曰欲見生身弥陀者可
調設蓮莖百駄 許言畢去是故申下宣旨於近國募年貢設蓮莖
同廿三日化尼又来伴瑞厳女人其齢三十許也化尼化女取蓮莖縁糸於
去寺乾六町許 乃至化人之堀彼清淨之地霊水忽涌出漫蓮糸於
其水深為五色化人即以五色蓮糸五日夜自亥刻至寅刻織極
楽男陀羅織之間寺乾角有織機之音聞化尼与發心禅尼相
對爰化女織出男陀羅置両人前懸之奉礼極楽変相也其分量
高一丈三尺廣一丈三尺三寸也化女放光明入雲西去化尼暫留教変
相之功能於禅尼權化之開道聞法鑑肝文畧抄
極楽のまんだらの女人のあるなり故和漢の先蹤あるべし仍書之畢

IHP

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

雲ゐの蛇とをなれどうきつけさせまて。これやかせ
給川。此仏名もことしばかりことしてはばきば
まや。常よりもことに揚杖のこゑぐなどあかれに
おほさうしすゑなるがきことにひねがふも仏乃
ことにいとうしくしてこれ。
なりて。
まへにめしてさうづきなどつれの作法よりも。
さしつせまてことにろくなど給ひすとしごろ
久しくまりおほやけにも。結て。腕まもしらんじなれ
たりし。
しらせりしくさりしかはやうしくいろかけまてさふ
ろ此尊師のうしらはやうしくいろかけまてさふ
らふも。長におほさう。側の家にちこ遅ちなどなまる

佛名も。ことしてはりふしうは。
或天長七年十二月始有佛名 或仁明 承和二於清涼殿修之
貞観格云太上宦府應行佛名懺悔事
三蘆告息國豊民安 以上 義秘
卸し 以上 ことしり
しやくちやうのとゑしくなり 河 錫杖經曰錫杖亦名智杖影顕聖智也又德行
功德本故也 佛名夜 初日 後夜 沙導師著礼盤唱佛名畢錫杖 又第三夜
錫杖後藏人受取内侍出綿被於導師第子僧等 義秘

見宦來事類自十九日至廿日
或撰吉日

杖をはふかざしてん。此かへし
尊師
千世の春こうるべきなと祈りをきて我力ぞ
君とともにかりぬる。へどおほくよこせきこれども
らし川。
深 此仏名ノ日計之 是も二ちの紀也
と日ぞ出ぬへる。此うち音の此光にも又おほ
くそひて。あさがくめでこしかしこれかりぬるよい

雲ゐの鉢とをなれど地うきつけさせまして、これやみ仏
給へ。仏名もことしばかりのことしてたまはばば
佛名第三夜錫杖
しかも常よりもことさら錫杖のこゑぐもなどあはれに
初後二モアリトイヘドモ
初夜導師の御声の行歩をば行ふなるべし
初夜さらぬ導師の御声の行歩をば行ふなるべし
佛のきこえわたりのうちうちして
導師のまゐりつるに出家
すべて給へ。りんことうちならして。
なほ本佛名第二夜被著白黒衣酒肴菓類
地
なほ本佛名第二夜被著白黒衣酒肴菓類
地
雪つくろうゆりて。

[illegible]

導師のさうづきのつくるに
ゆくゑもしらぬ雪のうちにけさはいとどしきまさりて
[illegible]
梅の花のまづうるはしう
[illegible]
雪まもてまやされたる程
[illegible]
ぬべくさ心ちもしぬべけれどいとしまでいみじうもあれども
[illegible]
までさせ給へ。導師のさうづきのみぞ
[illegible]
梅をしふかざしてんかんし
導師
千世の春こうぐべきかとぞ祈りをきて拝みぞ
君とともにあらばぬべくおぼえけれども
[illegible]
らし。
[illegible]
くそひて、[illegible]

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

857
120

ひの僧いおひなう泪もとゞめざりけり年暮ぬと
ぬばたまも心ぼそきまつ夜のおやしりんに着たり
なるべきしとおもひつゞけ
いとしのびがたし
我世もなかやつきぬるついたちの日どれこと
ちりこしなるべくとさせ
大臣の北ひきでもれ
なうおほしまうけてとぞ
ついたちの夜のまゐりをしまうけてとぞ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-120

ガラス使用